

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	JICA駒ヶ根訓練所を活用した語学キャンプ事業
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根市役所 総務部 企画振興課 中央アルプス山麓開発推進室 (電話：0265-83-2111 E-mail： kizai@city.komagane.nagano.jp)
事業区分	(1) ③教育、文化の振興に関する事業 (1) ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	803,234円 (うち支援金：600,000円)

事業内容

青年海外協力隊駒ヶ根訓練所(以下、「訓練所」とする。)のノウハウを活用して、訓練所で実施されている語学講習や国際理解ワークショップや地域の観光資源を活かした体験型のキャンプを実施した。

1. 小中学生連れ家族向け語学キャンプ

5家族が参加して訓練所での語学研修、訓練メニューを体験し、2日目には地域の国際イベント「みなこいワールドフェスタ」を語学講師と見学した。

2. 大学生向け語学キャンプ

大学生9名が語学研修と国際理解ワークショップを中心とする訓練所メニューを体験し、3日目には地域の伝統食であるそば打ちを地域住民から指導を受けながら満喫した。



【みなこいワールドフェスタ見学】



【国際理解ワークショップ】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

訓練所を活用してグローバル教育の提供という、山岳観光以外の新たな観光資源の開発の端緒となった。

国際関係の学部を擁する大学のユース・キャンプという形での受け入れをしたことで、新規の交流人口層を得ることができた。また、各大学の学生を誘致するための集客要素ともなった。

今回の事業を通じて、訓練所(JICA駒ヶ根)と訓練を委託されているJOCAとの連携体制が構築できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

リニア中央新幹線開業を見据え、他所にはない山岳観光都市以外の集客要素とするべく、参加団体の開拓、事業内容の深化をJICA・JOCAと協働して進める。また、国内の大学で高まるグローバル教育の需要を満たし、県外の大学生という地域にとって新しい交流層を獲得すると共に長野県立大学のグローバルマネジメント学部や、県看護大学等とも連携を図り、学内以外での研修の場を造り、グローバル人材育成の機会提供に貢献していく。

【目標・ねらい】

- ①新たな観光資源の開発
- ②新規の交流人口層の開拓
- ③関係団体との連携体制構築

※自己評価【B】

【理由】

新たな観光資源の開発と新規の交流人口の開拓ができ、今後の事業展開に繋がる事業となった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある